

令和7年度 第1回 国立大学法人三重大学経営協議会 議事概要

日 時 令和7年6月20日（金） 13時30分～14時45分

場 所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤（正）学長（議長）

伊藤（歳）、大友※、末松、竹林、馬岡※、丸山、服部、諸岡、横山※ 各学外委員
金子、湯浅、佐久間、西岡、織田島 各学内委員

欠席者 河上学外委員

田中学内委員

陪席者 中津、小川 各監事

企画総務部長、財務部長、企画戦略課長
企画総務部総務チーム

◎新規委員の紹介

会議冒頭に、学長から新規委員の紹介があった。

◎前回議事概要の確認

学長から、事前に照会した令和6年度第7回経営協議会議事概要（案）について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I. 審議事項

1. 令和6年度決算について

佐久間理事から、「資料：審－1」に基づき、令和6年度決算について説明があり、審議の結果、原案通り了承された。

<主な意見>

○ 大学であっても民間企業と同様に利益が出ていることは重要であり評価できる。

2. 令和8年度概算要求（教育研究組織改革分）について

佐久間理事から、「資料：審－2」に基づき、令和8年度概算要求（教育研究組織改革分）について説明があり、審議の結果、原案通り了承された。

<主な意見>

○ スタートアップ支援では、在学生の起業も含めて支援するのか。

⇒ 在学生の起業支援は、今回の概算要求とは別の枠組みで行うが、大学院の全研究科・全研究分野に共通して求められる汎用的な課題発見・解決能力の育成を通して、起業・スタートアップに繋げていくという考えである。

○ 学生の起業実績はあるか。

⇒ 確認できた実績は33件。

○ 学生が失敗を恐れずに挑戦できる雰囲気や環境づくりが重要である。

○ デジタル学際共創センターを基盤にしてデジタルヘルス専攻を設置するのか。

⇒ 今回の概算要求は、分野横断型教育・研究の共創モデルを開発・実装する全学センターの新設に係るものであり、別途進めているデジタルヘルス専攻を含め、全学でのデジタルを活用したカリキュラム開発等を行う。両者は密接に関連するが内容は別々である。

3. 国立大学法人三重大学経営協議会における国立大学法人三重大学学長選考・監察会議委員の選出について

学長から、「資料：審－3」に基づき、国立大学法人三重大学経営協議会における国立大学法人三重大学学長選考・監察会議委員の選出について説明があり、審議の結果、原案通り了承された。

4. その他

なし

Ⅱ. 報告事項

1. アクションプラン2030 2025年度の取り組みについて

学長から、「資料：報－1」に基づき、アクションプラン2030 2025年度の取り組みについて報告があった。

<主な意見>

○ 「この研究分野であれば三重大学」と認知されるような取り組みを強化していただきたい。

○ 県内高等学校の生徒、あるいは教職員の一部において、三重大学の強みが十分に理解されていない現状がある。三重大学の優れた点を県内のみならず県外の高校にも積極的に発信していくことが重要である。

○ 少子化が進行する中にあることは、本方針に掲げられた研究・社会貢献・医療といった各柱が、いずれも学生教育へと具体的かつ可視的な形で還元されていくことが不可欠である。

○ 数値目標の提示は極めて重要だが、その手前の「中間目標」を設定し、徐々に目標達成を目指すべきである。

2. 令和7年度国立大学法人ガバナンス・コード実施状況について

学長から、「資料：報－2」に基づき、令和7年度国立大学法人ガバナンス・コード実施状況について報告があった。

3. 令和6年度就職状況調査について

湯浅理事から、「資料：報－3」に基づき、令和6年度就職状況調査について報告があった。

4. 令和8年度施設整備費概算要求事業について

織田島副理事から、「資料：報－4」に基づき、令和8年度施設整備費概算要求事業について報告があった。

5. 第4期中期計画の変更認可について

織田島副理事から、「資料：報－5」に基づき、第4期中期計画の変更認可について報告があった。

6. 理事の任命について

学長から、「資料：報－6」に基づき、理事の任命について報告があった。

7. その他

(1) 次回開催について

令和7年9月19日（金）13時30分～（予定）

Ⅲ. 意見交換

1. その他

なし

以上